

令和3年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人札幌市芸術文化財団	
施 設 名	札幌市民交流プラザ	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	18,281	(千円)
	公 演 事 業	17,344 (千円)
	人 材 養 成 事 業	0 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	937 (千円)

(1) 令和3年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	Creative Opera Mix	令和4年1月23日	演目：「Creative Opera Mix vol.3」 出演者：SHOKO、福由樹子、DJ TAMA、 川島沙耶ほか	目標値	1,095
		札幌文化芸術劇場		実績値	1,025
2	Noism Company Niigata	令和3年7月31日	演目：「春の祭典」「夏の名残のバラ」 映像舞踊「BOLERO2020」「FratresⅢ」 出演者：Noism Company Niigata	目標値	540
		札幌文化芸術劇場		実績値	344
3	hitaruのひととき Mi Tierra Andalucía ～私の 地 アンダルシア～	令和3年6月11日	演目：「Mi Tierra Andalucía～私の 地 アンダルシア～」 出演者：SIROCO ほか	目標値	1,120
		札幌文化芸術劇場		実績値	563※
4	hitaruのひととき ANÚNA 神秘のケルティック・コ ーラス	中止	新型コロナウイルス感染症の影響に より中止	目標値	1,100
				実績値	※
5	hitaruのひととき ～VR 能 攻殻機動隊～	令和4年1月15日	演目：「VR 能 攻殻機動隊」 出演：坂口貴信ほか スタッフ：奥秀太郎(演出)ほか	目標値	1,400
		札幌文化芸術劇場		実績値	883※
6	高嶺格「歓迎されざる者」 北海道バージョン	令和3年8月27日～ 29日	演目：「歓迎されざる者」北海道バー ジョン 出演者：オーディションによる選出 者 スタッフ：高嶺格(演出)ほか	目標値	1,365
		クリエイティブスタジオ		実績値	348※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	SCARTS ステージシリーズ 「からだの贈り物」	令和3年12月21日	演目：「からだの贈りもの」 出演者：劇団千年王國 スタッフ：櫻井幸絵(演出)ほか	目標値	120
		SCARTS コート		実績値	71※
2	SCARTS ステージシリーズ 「平原慎太郎ダンス公演 よ るね よるこい よる」	令和4年3月20日	演目：「平原慎太郎ダンス よるね よる こい よる」 出演：平原慎太郎、大森弥子ほか	目標値	120
		SCARTS コート		実績値	63※
3	子どものためのバレエ 「ド ン・キホーテの夢」(仮)	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のた め中止	目標値	2,000
				実績値	※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>以下の基本姿勢、実施体制により妥当性の高い事業作りに取り組んだ。</p> <p>■社会的状況への対応（ミッションの説明）：札幌市の文化政策・条例を出発点に、当施設のミッションを策定</p> <p>(1) 「札幌市民交流プラザ条例」第1条（設置目的）に対応したミッション</p> <p>施設設置目的「<u>文化芸術活動及び生涯学習の振興並びに人々の来訪及び交流の促進を図り、もって市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上を実現するほか、地域のにぎわいの創出に寄与するため</u>」とされ、目的達成にかかるミッションとして「良質な文化芸術の提供と北海道発の文化芸術の創造」「文化芸術の水準を高める拠点としての役割」「今後の文化芸術を担い、支える人材の育成」等、6項目を掲げている。</p> <p>(2) ミッションを達成する「札幌文化芸術基本計画（第3期：計画期間2019-2023）」に立脚した事業を構築</p> <ul style="list-style-type: none">・施策1-1「多様な文化芸術に親しむ機会の提供」・・・あらゆる人の多様な価値観の尊重・にぎわいの創出・施策1-2「文化芸術のための施設の活用等」・・・地域コミュニティの創造や再生・市民の創造性喚起・施策2-2「アーティスト等のステップアップ促進」・・・地元の個人・団体がステップアップするための支援 <p>■適切な事業の組み立て：複層的な検討体制により、多方面のニーズ把握と妥当性の高い事業を実現</p> <p>(1) 評議員会、理事会・・・財団全体の総合的な経営方針について決議</p> <p>(2) 市民交流プラザ運営協議会・・・当施設の運営方針について意見・評価を取り入れ</p> <p>(3) 事業専門委員会・・・実施各事業への専門的助言を委員会開催により取り入れ</p> <p>(4) 政策推進連絡会・・・札幌市と連携関係を保ち、文化政策に基づく適切な施設運営に繋げる</p> <p>■安定的かつ質の高い事業実施：高質なサービス実現を図るため、業務ごとに専門性の高い企業と連携</p> <p>(1) 舞台・音響・照明・・・北海道ステージアートアライアンスによる専門的かつ効率的な舞台制作</p> <p>(2) 場内案内・安全誘導・・・サントリー・パブリシティ・サービスによる洗練された場内案内</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>◆地域の福祉・教育との連携：各施設・機関との連携による地域に根差した事業の実施</p> <p>地域アートコミュニケーターによる鑑賞と評価(事業番号1-1)</p> <p>◆社会包摂の視点：青少年の育成、障がいを持つ方や育児世代が参加しやすい環境作り</p> <p>25歳以下特別料金の設定(事業番号1-1、2、3、5)／車いすの貸出及び鑑賞席の整備(事業番号1-1、2、3、5)</p> <p>◆地域活性化の視点：地元企業との連携や、広場の空間を活用した賑わいの創出</p> <p>地元テレビ局の協力による有料アーカイブ配信の実施(事業番号1-1)／配信プラットフォームを利用した有料アーカイブ配信の実施(事業番号1-3)／配信プラットフォームを利用した無料アーカイブ配信の実施(事業番号1-6)／様々な人が行きかうスペースであるSCARTSコートでの無料公演の実施(事業番号2-1、2)</p> <p>◆関心層の掘り起こしと育成：公演等に付随し、地域住民の関心をより一層高める取り組み</p> <p>様々な分野の地元芸術家により創作した内容により相互のファンに魅力を訴求(事業番号1-1)／ジャンルを超えた国内トップクラスアーティストの共演(事業番号1-5)／オーディションによる公募により募集した出演者による作品創り(事業番号1-6)／トークの実施やインタビュー掲出やインタビュー映像の公開(事業番号1-1、2、3、6、2-1、2)</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

■公演事業「創造性の育み」 (定性評価：主催事業アンケート) アンケート自由筆記欄等

達成 創造事業である Creative Opera Mix Vol.3 MASTER PIECES のアンケート集計結果では、自由筆記欄において内容についての好意的反響が多く寄せられた中で、特に「新しい発見」「感動」「アレンジの素晴らしさ」「企画のユニークさ」を評価する声が多いのが、他の公演の場合と異なる点であった。オペラとダンスを組み合わせるといふ企画方針によって企図していた通り、日常的にはどちらかのジャンルにしか関心を持たなかった市民に対し斬新な感覚を味わっていただくことに成功しており、出演・関係者における創造性の育みに加えて鑑賞者の側にも創造性の育み効果があったのではと思われる。

■公演事業「包摂的機能」(定量評価：主催事業アンケート) 回答者年代 10代～30代について 33.5%

達成：33.6% (令和3年度 16公演平均) 若者に人気の映画系事業や、地元を生徒を持つダンサーや音楽家の出演のある事業において生徒世代の流入が多かった。その他、VR 能事業も若者世代の参加率が比較的高水準の結果となった。

■公演事業「実演芸術の魅力発信」 (定量評価：市民交流プラザメンバーズ会員数) 会員数 31,156人

達成：39,408人 (令和4年3月31日現在 ※令和3年3月31日時点 28,856人から 10,552人増) 主催事業の先行発売や公演情報の提供等の会員特典が好評された他、共催事業のミュージカル公演等が注目を集め大幅に会員数を伸ばした。

■公演事業「新たな価値の創造・発展」(定量評価：主催事業アンケート内容満足度「まあ満足」以上 88.5%)

達成：94.3% (令和3年度 16公演平均) 公共劇場ならではのラインナップにより、また地域に根差した付加価値を追求しながらニーズの高い主催公演を実施したことにより高い満足度を達成することができた。

■公演事業「都市ブランドの向上」(定量評価：主催事業アンケート回答者住所「札幌市内」以外の合計値 23%)

未達：14.7% (令和3年度 16公演平均) 市外(道内)からの流入は昨年より大きく減ることはなかったが、コロナ禍による旅行控えが強く影響し道外からの流入が激減したためと思われる。

■普及啓発事業「多様な市民の豊かな感性の育み」(定量評価：アンケート内容満足度「まあ満足」以上 90%)

達成：93.3% (令和3年度 2事業平均) SCARTS ステージシリーズとして実施した2事業は市民が気軽に立ち寄れる会場の利点を活かし、無料で質の高い舞台芸術公演を実施することで鑑賞者の裾野を広げ、施設の賑わいを創出することを目的とした。両事業とも北海道にゆかりのある、定評のある出演者を迎えたこともあり、満足度は高水準となった。

■普及啓発事業「文化芸術の持つ包摂的機能の浸透」(定量評価：アンケート属性別調査 年代別・性別平均満足度「まあ満足」以上 90%)

令和3年度2事業全来場者の年代ごとの内訳は40代14名、50代16名、60代12名、70代3名となっており、性別ごとの内訳は女性35名、男性10名となった。年代別の満足度は40代92.8%、50代93.7%、60代91.6%、70代100%となり、いずれも目標達成。性別の満足度は女性94.2%、男性90%となりいずれも目標達成。

なお、指標としていない部分ではあるが、アンケート回答者の職業に着目するとアルバイト、パート、無職、主婦の参加がとて多く(有効回答数34件の内24件が該当)、これらの回答者にとっては無料公演であったことも来場契機として関係している点が考えられる。包摂的機能に関する成果としては良い結果となったが、年齢層や性別の偏りについては現状分析を進めるとともに改善すべき点について引き続き検討していきたい。

■普及啓発事業「当施設の魅力と価値の発信」指標 (定量評価：アンケート 来場者 各事業の来場者目標値の達成)

未達。各事業の来場者目標値の達成を目標とし、事業番号1は目標値120名に対し実績71名となり未達。事業番号2は目標値120名に対し実績63名となり未達。新型コロナウイルスの感染を危惧した市民が来場を控えたこと、また感染拡大防止の観点から、当初予定よりも席数を減らし、座席指定による限定的な入場としたことによるとと思われる。

(3) 効率性

自己評価					
アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。					
◆事業期間◆					
番号	計画当初の事業期間	確定した事業期間	評価		
1-1	令和4年1月	令和4年1月23日	適切		
1-2	令和3年7月31日	令和3年7月31日	適切		
1-3	令和3年6月11日	令和3年6月11日	適切		
1-4	令和3年11月25日	中止	中止		
1-5	令和4年1月15日	令和4年1月15日	適切		
1-6	令和3年7月又は8月	令和3年8月27日～29日	適切		
2-1	令和3年12月	令和3年12月21日	適切		
2-2	令和4年3月	令和4年3月20日	適切		
2-3	令和3年7月21日	中止	中止		
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。					
◆事業費◆					
番号	収支予算（千円）		収支決算（千円）		評価
	収入	支出	収入(予決差)	支出(予決差)	
1-1	2,233	11,214	2,499(+266)	12,405(-1,191)	適切
1-2	2,389	9,992	1,734(-655)	8,377(+1,615)	適切
1-3	3,243	6,940	1,583(-1,660)	4,143(+2,797)	※
1-4	3,135	5,076	0	0	中止
1-5	3,500	8,758	2,453(-1,047)	9,138(-380)	適切
1-6	0	6,523	0(0)	6,119(+404)	適切
2-1	0	901	0(0)	715(+186)	※
2-2	0	974	0(0)	586(+388)	※
2-3	8,100	10,565	0	0	中止
※執行状況一覧にて報告					

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

■視点1 当施設が地域の文化拠点としての機能を発揮するための資源について

当施設では、文化芸術の事業実施に係り、以下の通り人材、施設、安全管理面の各資源を活用し取組を進めた。

(1) 人材面の資源：専門的人材との連携・協働体制を構築するネットワーク

ア 各分野の専門家からなる事業専門委員会及び芸術アドバイザーの設置

幅広い分野の専門家（アートディレクター、大学教授、公共ホール関係者、音楽評論家等）からなる事業専門委員会を組織し、札幌市民交流プラザの運営全般について幅広く意見交換し事業を推進。

イ 豊富な経験・技術を持つ専門的人材の舞台技術部長としての起用

新国立劇場にて9年間舞台技術部長を務めた伊藤久幸を当施設の同職として起用している。

ウ 芸術的評価が高く、影響力の強い実演芸術団体との継続的な連携

事業専門委員との連携体制に加え、事業番号1-1では道内のストリートダンスに影響力の強いダンススタジオマインド、事業番号1-2は国際的に評価されるNoism Company Niigataと密な連携を図り、実施。

(2) 施設面の資源：人々の交流促進やまちづくりに貢献する芸術文化の拠点

ア ニーズに合わせ、多様な演出が可能な施設

2,305の客席と多面舞台、先進的な舞台機構を備える劇場と、劇場舞台と同面積を持ち175席の移動観覧席を備えるクリエイティブスタジオにより、幅広い分野・演出内容の公演事業が実施可能。

イ すべての人に開かれたアートを作る文化芸術交流センターSCARTS

札幌市図書・情報館やレストラン及びカフェといった利用者の多い施設が同居する当施設の低層階に位置し、オープンスペースや中小のスタジオ、ミーティングルーム等を備える、地域の文化芸術の中心的な拠点。文化芸術に関する情報の発信や市民の創造的活動の支援も行っている。

(3) 安全管理面の資源：防災・安全管理計画整備と、それに基づく危機管理体制の整備

消防計画及び危機管理規定を整備し、災害時に迅速かつ的確な対応ができるよう職員の教育・訓練を実施。新型コロナウイルスの感染対策としては、全国公立文化施設協会、クラシック音楽公演運営推進協議会、緊急事態舞台芸術ネットワークの各団体によるガイドラインを参照するとともに、北海道・札幌市の実施基準を遵守した内容を実施。地元アートディレクター等との協働によるデザイン性の高い館内表示や、様々な予防策を盛り込んだテストコンサートの実施等、施設独自の感染対策についても実施。

■視点2 上記資源を活用し、当施設の機能を最大限に発揮した事業を実現

(1) 札幌の文化芸術資源と当施設の強みを掛け合わせた、新たな創造活動

地元の文化芸術資源と実演芸術家の能力を結集した事業として、事業番号1-1では、クラシック歌手やDJ、ダンサー等、幅広い実演家を起用し、複数分野の融合に取り組んだ。

(2) 訴求力の高い大型公演事業に、当施設ならではの要素を追求し実施

事業1-2、3では国内トップクラスの実演芸術家による公演に取り組んだ。併せて事業1-1、3、6、2-1、2では上演のみならず、アーカイブ映像配信も行い、市外、道外へも魅力を発信した。

(3) 国内外で評価が非常に高い演出家・劇団による公演の実施

平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞、第60回毎日芸術賞ほかを受賞するNoism Company Niigata、及び2017年スペインの国際コンクールアニージャ・ラ・ヒターナ・デ・ロンダにて優勝経験のあるSIROCOを招聘し公演を実施。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

◆以下の通り事業を推進し、地域の文化芸術の発展に繋げることが出来たと考えられる

1 地域の文化芸術のニーズの把握方法について

札幌市では、市民感覚での幅広い視点で文化芸術施策の評価を行うため、市民、アーティスト等、文化芸術団体等による「札幌文化芸術円卓会議」と、市民の活動内容・ニーズを把握するための「文化芸術意識調査」を継続的に実施している。当該調査の分析により札幌市では札幌市文化芸術基本計画（第3期）を策定しており、当該計画は、当施設が事業計画を策定する上での考え方の柱としている。

2 地域の文化芸術発展にかかり注力した事項について

札幌市文化芸術基本計画（第3期）において、「今後注力すべき事項」として提言する各事項に従って事業計画を策定している。このたびの採択事業と特に関連する事項及びその対応状況は以下の通り。

(1) 文化芸術の持つ包摂的機能の浸透

老若男女、社会的状況、障がいの有無や国籍等に関わらず、多様な市民がそれぞれのニーズのもと文化芸術の鑑賞活動を享受できる環境の整備と、多様な文化芸術公演の実施に注力した。

ア 幅広いジャンルの主催事業（オペラ、バレエ、演劇、ジャズ、ダンス、レクチャー等）

イ 車椅子席、U-25席、社会包摂サービスの取り入れ

ウ 来場者アンケートの実施による多様なニーズの把握と分析

公演系全事業にて実施。今後の改善点等について検討

(2) 市民の創造性を育む拠点としての札幌市民交流プラザの活用

文化芸術の魅力を市民に広く紹介し、文化芸術への関心を高め、文化芸術の当事者、積極的に関わる人を増やしていくことを目的に、当施設の設備やスタッフ等の資源を最大限活用した事業実施に注力した。

ア 施設設備を活用した、常勤の技術スタッフによる事業実施（事業番号 1-1、6）

イ 様々な普及・育成イベントの実施（事業番号 1-1、2-1、2-2）

(3) 関連する他の分野との連携による新たな価値の創造・発展

様々な分野との連携による事業実施と、それによる賑わい創出・地域活性化に注力した。

ア 札幌市図書・情報館との連携

札幌市図書・情報館と連携し、主催事業の理解を深めるための特設コーナーを設置。劇場の取組みを道民、市民に幅広く伝えた。（補助対象事業としては事業番号 1-1）

イ 教育機関との連携

事業番号 1-1 では当日プログラムの内容考証に大学教授に参画いただいた。

ウ HTB 北海道テレビ放送株式会社との連携

HTB 北海道テレビ放送株式会社と連携し、有料配信事業を実施（補助対象事業の中では事業番号 1-1）。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

◆当施設では以下のPDCAサイクルを回すことにより、組織活動の持続的な発展に取り組んでいる。

- Plan[計画]** (1) 妥当性「適切な事業の組み立て」の組織体制による重層的な決定プロセスにより、地域住民や芸術家等のニーズ、社会的状況及び当財団の経営状況に即した事業計画を組み立てる。
- Do[実行]** (1) 妥当性「安定的かつ質の高い事業実施」の各業者や(4) 創造性「人材面の資源」のネットワーク（下記「各方面とのネットワーク」も参照）と連携し、質の高い事業実施に取り組む。
- Check[評価]** 来場者アンケート、事業専門委員会、出演関係者等へのヒアリング等、主催事業や施設運営に関して、多角的に評価・意見を収集分析する。また課内会議、係長会議、課長会議、部内連絡会議等、多層的な意見交換プロセスにおいて改善・反省事項を確認する。
- Action[改善]** 関係する各課各係にて改善に取り組み、社内グループウェア等を通じ、改善行動の進捗を円滑・確実に共有する。部署間連携を強化し、柔軟で独自性の高い事業創造に繋げていく。

◆以下の取り組みにより、各経営資源の持続的な発展に取り組む

■人材資源の持続的育成への取り組み

雇用環境の維持向上に努め、各職位に合わせた研修を計画的に実施。必要職員数に応じた職員採用を実施。

- 1 平均勤続年数：9年8か月、正規雇用率：R3 54.24%（当施設プロパー職員／当施設全職員）
- 2 市民人材育成 SCARTS アートコミュニケーション事業、SCARTS レクチャーシリーズ他実施

■経営基盤の安定化への取り組み

貸館利用促進・集客促進（年間来場目標120万人）、スポンサー営業、会員数増加等に取り組むとともに、委託業務内容の見直しや効率的な管理による経費縮減について絶えず意識し、コストダウンを図っていく。

- 1 収支の推移 【当期一般正味財産増減額】 H30 8,951万円 | R2 11,456万円 | R3 31,384万円
- 2 市からの補助【指定管理費＋補助金】 H30 282,084万円 | R2 270,479万円 | R3 304,711万円
- 3 資金の推移 【一般正味財産期末残高】 H30 56,884万円 | R2 61,699万円 | R3 93,967万円
- 4 施設会員制度 市民交流プラザメンバーズ制度（令和4年3月31日現在会員数38,674）
- 5 スポンサー制度 主催事業の充実に向け運営 法人：106社、個人：53人（R4 4月現在）

■各方面とのネットワーク形成への取り組み

- 1 劇場・音楽堂等とのネットワークの構築・強化

(1) 共同制作、事業提携、実証実験の共同実施等による劇場・音楽堂等との連携

新国立劇場、東京文化会館、神奈川県民ホール、愛知県芸術劇場、びわ湖ホール等と連携

(2) 連絡協議会等ネットワークや研修会への参加、講師の派遣等

- ・全国公立文化施設協会、公共劇場舞台技術者連絡会、劇場・音楽堂等連絡協議会等
- ・（一財）地域創造への継続的な職員派遣及び同財団の主催する研修への継続的な参加

- 2 教育機関（大学等）との連携（インターン受け入れ、講師の招聘等）によるネットワークの形成状況
芸術系学部を有する地元3大学との連携協定に基づく協力の他、北海道大学 Co-STEP との連携等
- 3 地元メディアとの連携 北海道テレビ放送（配信事業）、北海道新聞（取材等）との連携。

■安全快適な施設設備の維持と改善の取り組み

- 1 清掃等の日常業務、舞台設備等管理を含む設備保守点検業務により、安全かつ快適な施設・設備を維持
- 2 令和2～6年度の指定管理者として管理業務方針を定める「管理業務計画書」により計画的に実施